

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 4

2023年7月21日発行



7月の聖句『主はわたしの光』

(詩編27:1より)

過去の思い出です。分かち合いたく存じます。

故郷を離れて、それでも何年おきかで帰省することがありました。いつも、実家に到着するのは夜遅くになります。母はどんなに夜遅くとも、必ず玄関の外灯をつけて帰りを待っていてくれました。わたしは玄関の引き戸を引き、「ただいま帰りました」と言うや、母はいつも起きていて、居間から「おかえり……」と答えるのでした。わたしの故郷の言葉は歌うように抑揚をつけますので、母の言葉の響きによって、故郷に帰ってきたことを実感するのでした。

些細なことですが、外灯の光は待っていることの象徴であり、それも喜んで待っていることの象徴です。

わたしは、イメージします。光としての主イエスが、いつもわたしを待っていてくださる存在であること。それも、喜びをもって。

そう思うと慰めと励ましを受けるのです。

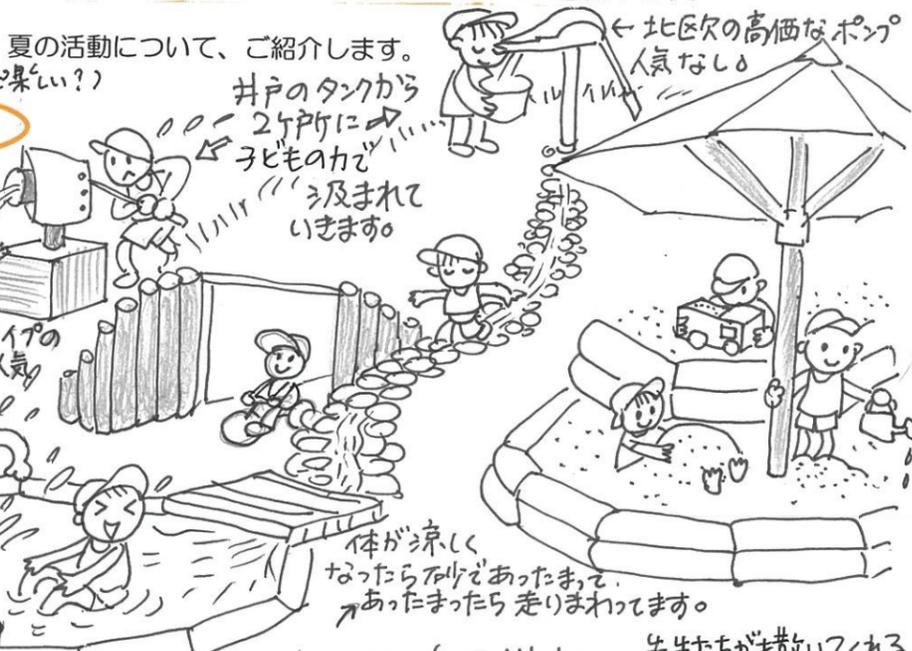
チャブレン 司祭いけだとおる

* 今月、新潟で最近までお一人住まいをされていたチャブレンのお父様が天に召されました。そんな中故郷からすぐに戻られて、子ども達の祝福のためにお誕生会に来て下さったことに感謝します。

ふるさと岩見沢の一番楽しい季節、夏の活動について、ご紹介します。
(冬も暑い?)

水遊び・泥んこ遊び

水遊びが一番気になるのは衛生面です。まず使用されている井戸水は地下58m.の深さから電動ポンプで地表近くのタンクまで送られてくるため水質調査の結果、飲んでも問題のない水です。(金魚の味?)
シャブ池を作るとき設計の井上さんに「公園にあるみたいな水場がほしい。」と頼んだところ「コンクリートの水場は転倒の事故も多く、すぐコケなどが生えて不衛生になる。」と衛生的な子なんです。」ということでした。



先生たちが敷いてくれるシャワーミストも大人気ですよ。

聖十字幼稚園でずっと昔から大切にしている活動に「ネイチャーランド」があります。ふるさと岩見沢の豊かな自然。幼児期は特に自然から多くのめぐみを受け取ります。熊やタニなどの危険をきちんと避けながら、このすばらしい体験を心の中に持っていてほしいのです。

ネイチャーランド

ダニよけのために数年前に2学年分購入したのが、パールトリン加工のメッシュジャンパーです。虫を除けるパールトリンを固着させているため揮発せず、人、動物、環境にも安全な生の最高評価を受けたものです。このジャンパーにしてからダニが子どもの首や体についていたことはありません。

森の中とくに午前中は木々から出るフィトンチッドで満たされた空気が私たちに包み込みます。「気持ちいい!」と感じるのはそのためです。

フィトンチッドは木が自分を守るために出す化学物質なのですか? 私たちの脳や神経を緊張から解き放ち、ストレスホルモンが低下し、免疫力が高まります。

緑色は目に優しく、神経を落ち着かせます。

虫よけスプレーも、デオドが入っていないものを使っています。

年中さんが裸根別原生林に行きました。ウォーキングセンターにはもと園長先生の有本先生がいるのです。有本先生によると、池の周囲がすっかりきれいに護岸工事が施され、カワセミなどのきれいな鳥が来なくなりました。残念……。

このゆらぎを感受し、深くリラックスし、落ちついていくのが見ていてもわかります。この満足感やリラックスした気持ちが1ヶ月も続くというのもびっくりです。

生まれてからまだ数年かたっていないこの小さな子どもたちは、まだやわらかく、目も鼻も耳も、神経が作られていく一生に一度の大切なときです。過激な音や光ではなく、森のような静かな環境で感受性を育てることが、理にかかっているのでは。夏休み、森へ行ってみませんか?

親子で楽しもう! バザー・フェスティバル

PTA や、おやちの会のみなさんが、今、一生懸命準備して下さっているバザーフェスティバル。聖十字の大人たちの力はすごいな、お父さんやお母さんたちと、先生たちで、一緒に何か歌える歌ないかなー... と思っていたら、ラジオから嵐の「ふるさと」が流れてきました。久々に聞くと、歌詞もとっても素敵です。ぜひ閉会の時に、会場にいる大人みんなで歌いたいのですがどうでしょうか。(裏面に歌詞あります。1番省略で2番からです。) 知らない人でも、きっと歌えます。伴奏はリンクさんをお願いしました。毎日、朝から晩までカっぱい頑張ってるお父さん、お母さん、ぜひ家事や運転の合間に練習をお願いします! たまには大人が声を揃えて歌うところを子どもに見せましょう。聖十字幼稚園が、あったかい「ふるさと」として、子ども達の心にいつまでも残ってくれますように...